

インターロッキングブロック舗装 Technical Report - 出来形および品質管理編 - (その4)

Vol.61

1. 品質管理

品質管理の項目および頻度は、管理水準や過去の施工実績などを考慮して定めます。品質管理の項目および頻度の例を表1に示します。頻度はおおむね500m²に1回または1日1回とします。ILブロックの試験は、用いるILブロックの種類(普通、透水性、保水性など)に応じたものを実施します。

表1 品質管理項目の例(○は定期的に実施 △は異常が認められた時)

工 種		管理水準 A	管理水準 B	管理水準 C	試験方法	
構築路床	締固め度	○	-	-	JIS A 1214 注1	
下層路盤	締固め度	○	-	-	JIS A 1214	
粒度調整	締固め度	○	-	-	JIS A 1214	
	PI(塑性指数)	○	△	-	JIS A 1205 注2	
	粒 度	2.36mm	○	△	-	JIS A 1102 注3
		75μm ふるい通過	○	△	-	JIS A 1103 注4
	支持力	○	-	-	FWD など	
セメント安定処理・ セメント瀝青安定処理	締固め度	○	-	-	JIS A 1214	
	粒 度	2.36mm	○	△	-	JIS A 1102
		75μm ふるい通過	○	△	-	JIS A 1103
	セメント量・瀝青量	○	△	-	試験表	
	支持力	○	-	-	FWD など	
	含水比	○	△	-	JIS A 1203 注5	
瀝青安定処理・ 透水性瀝青安定処理	締固め度	○	-	-	JIS A 1214	
	混合物温度	○	△	-	温度管理	
	粒 度	2.36mm	○	△	-	JIS A 1102
		75μm ふるい通過	○	△	-	JIS A 1103
	瀝青量	○	△	-	印字または抽出試験	
	支持力	○	-	-	FWD など	
	転圧回数	○	△	-		
敷 砂	最大粒形	○	△	-	JIS A 1102	
	粗粒率(FM)	○	△	-		
	細粒化に対する抵抗性	○	△	-	JIPEA-TM-2	
	洗い試験	○	△	-	JIS A 1103	
目地砂	最大粒形	○	△	-	JIS A 1102	
	洗い試験	○	△	-		
IL ブロック層	外 観	ひび割れ	○	○	○	目視観察
		角欠け	○	○	○	
		変形	○	○	○	
		きず	○	○	○	
	強度	○	○	○	JIS A 5371 注6	
	厚さ	○	○	○	JIPEA-TM-1	
	寸法	○	○	○	JIPEA-TM-1	
	色	○	○	○	目視観察	
	テクスチャ	○	○	○		
	形状(デザイン)	○	○	○		
	すべり抵抗(BPN)	○	○	○	JIPEA-TM-6	
	透水性	○	○	○	JIS A 5371	
	保水性	○	○	○	JIS A 5371	
	遮熱性	○	○	○	JIPEA-TM-14	

注1)JIS A 1214(砂置換法による密度試験法)

注2)JIS A 1215(土の液性限界・塑性限界試験方法)

注3)JIS A 1102(骨材のふるい分け試験方法)

注4)JIS A 1103(骨材の微粒分量試験方法)

注5)JIS A 1203(土の含水比試験方法)

注6)JIS A 5371(プレキャスト無筋コンクリート製品)

以上